

# 山行報告書

作成:2008年1月20日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	オサンババ(山中山)(1631.4m)	目的[方法]	山スキー・スキー練習
期間	2008年1月19日(土)	形態	日帰りスキー登山
参加人数	6人		

## 行動記録:

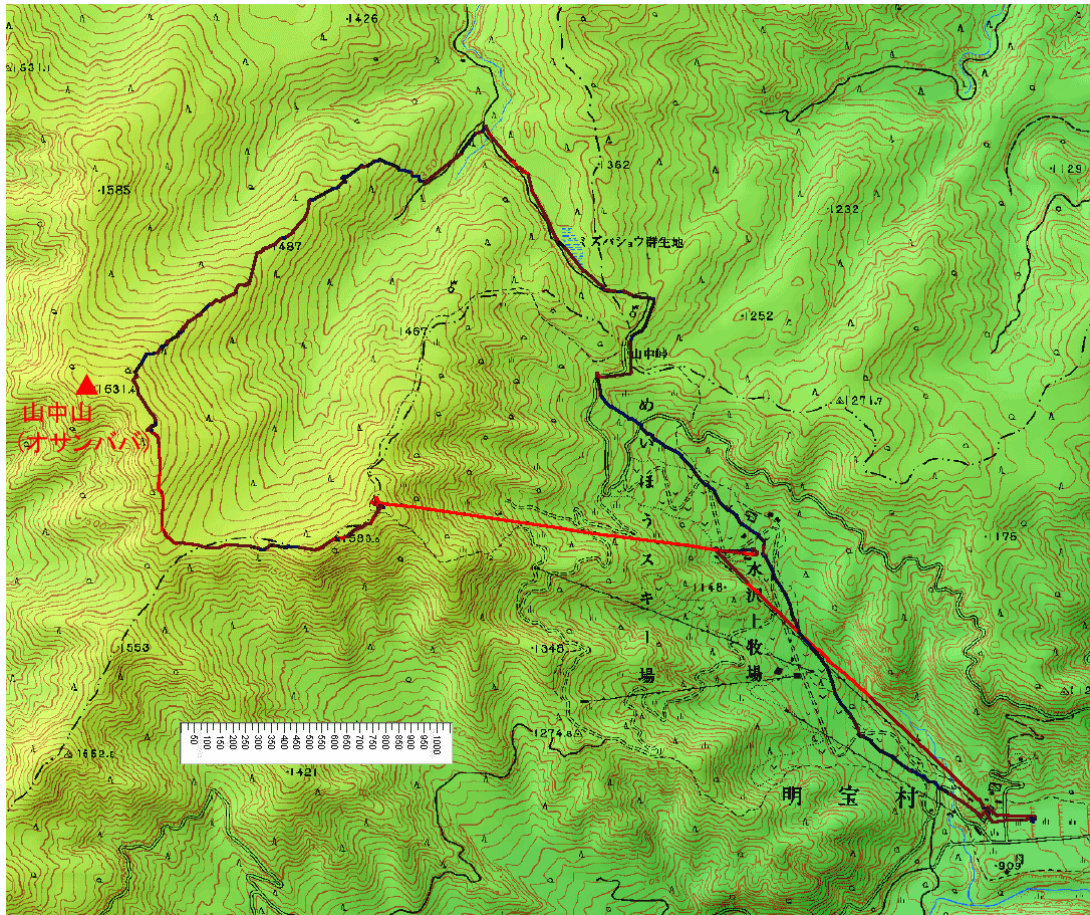
1/18(金)晴れ

岩津市民 C(19:50) = (0:05) = 豊田東 IC(19:55) = (1:05) = 美並 IC(21:00)[高速代 1450 円(通割)] = (0:38) = 道の駅明宝(21:38)

1/19(土)晴れ

道の駅明宝(8:00) = (0:18) = めいほうスキー場 P(8:18,8:45), スキー場(9:15) ++ (0:20) ++ リフト上部(9:35,9:45) - (1:00) - オサンババ(10:45,11:45) - スキー場(13:35), スキー練習( ~ 16:45) - スキー場 P(16:50,17:10) = (0:05) = 明宝温泉「湯星館」(17:15, 19:17) = (0:36) = 郡上八幡 IC(19:53) = (1:05) = 松平 IC(20:58)[高速代 1550 円(通割)] = (0:14) = 岩津市民 C(21:12)

## 概念図:



## 日誌:

予定では一台の車で行く筈であったが、荷物が多く一台には積みきれず、結局車 2 台を利用することになった。荷物の積み替えで手子溜ったため出発が 10 分遅れ、豊田東 IC に 19:55 に入り通勤割引時間にぎりぎり間に合った。この日はかなり寒く、スキー場よりも少し暖かいかも知れないということで、道の駅明宝に泊まることにした。テントを張ったら早速楽しい宴会の始まり。今回は春日井山岳会の N さんが参加されたため、特別に用意したおつまみのメキシコ料理「ナチョス」で乾杯。午前 2 時少し前にお開きにして床に就いた。

翌朝は予定より 30 分遅れて道の駅を出発。スキー場は、晴天のためか駐車場に到着した時には既にかなりの車が停まっていた。装備を着けてリフトでスキー場のトップに行き、シールを付けていざオサンババに向けて出発した。晴天の下、途中御嶽や乗鞍などの美しい雪山の景色を楽しみながら 1 時間ほどで山頂に到着した。この日は気温もかなり低く、雪質が大変良かった。山頂で 1 時間ほどゆっくりと昼食を楽しんだ後は、シールを取ってよいよパウダーの斜面を滑走。森の中を尾根伝いに滑り、その後沢に向かって 1370m 付近まで滑った。尾根から南東に下る斜面は日当たりが良いためクラスト状の雪であったが、モナカ雪の様な滑り難さは無く、全員問題なく林道に下りた。その後再びシールを付けて、林道伝いに我々以外には誰もいない静かな森をスキー場を目指してスキーハイキングした。スキー場に到着後は車に荷物を置き、I 氏の指導の下 16:30 の最後のリフトまでテクニクを練習した。

## 感想:

今回はお天気と雪質に恵まれ、山スキーツアーを満喫出来ました。オサンババはめいほうスキー場からスキー歩行で 1 時間程度の所で、傾斜も緩く山スキー初心者にはお薦めの山です。滑走の楽しさも然る事乍ら、林道伝いにスキー場に戻るスキーハイキングも素晴らしく、また来てみたいと思える良い山でした。

明宝温泉「湯星館」は 500 円と安いのですが、脱衣所が狭く、お風呂の洗い場も数が少なく利用するために並ばなければなりません。しかし、温泉施設内にある食堂は安価でお料理もなかなか良いです。